

研究ノート
マタイの福音書 2 章 15 節における
ホセア書 11 章 1 節の引用問題¹

三浦 譲

I. 序

マタイは、イエスが幼児期にエジプトに立ちのき、再度エジプトから出て来てイスラエルの地に入るといふ出来事を記す際に、以下のようにホセア書 11 章 1 節を引用する。

マタイの福音書 2 章 14-15 節²

14 そこで、ヨセフは立って、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトに立ちのき、

15 ヘロデが死ぬまでそこにいた。これは、主が預言者を通して、「わたしはエジプトから、わたしの子を呼び出した」と言われた事が成就するためであった。

¹ 本稿は、2016 年 8 月に行われた聖書宣教会聖書神学舎夏期研修講座において「新約聖書における旧約聖書引用の問題」として発表したものに加筆修正したものである。発表は、山崎ランサム和彦「新約聖書における使徒的解釈学 ―現代福音主義への示唆―」『福音主義神学』45 (2014 年) 33-54 頁に対する応答という形を取っている (近日、『聖書信仰とその諸問題』[仮題]として出版予定)。

² 本稿における聖書の日本語訳は、特筆しない限りにおいては新改訳聖書第 3 版による。

引用のことばは、ホセア書とマタイの福音書においてはそれぞれ以下のようになる。

ホセア書 11 章 1 節

MT

כִּי נֶעַר יִשְׂרָאֵל וְאֶהְבֵּהוּ וּמִמִּצְרַיִם קָרָאתִי לְבָנִי:

イスラエルが幼いころ、わたしは彼を愛し、わたしの子をエジプトから呼び出した。

LXX

Διότι νήπιος Ἰσραὴλ καὶ ἐγὼ ἠγάπησα αὐτὸν
καὶ ἐξ Αἰγύπτου μετεκάλεσα τὰ τέκνα αὐτοῦ.

NETS³

For Israel was an infant, and I loved him,
and out of Egypt I recalled his children.

マタイの福音書 2 章 15 節

Ἐξ Αἰγύπτου ἐκάλεσα τὸν υἱόν μου.

わたしはエジプトから、わたしの子と呼ば出した。

LXX は、MT の「わたしの子」を「彼の子たち」と変更する。たぶん、次節のホセア書 11 章 2 節で「彼らと呼ばば」と、イスラエルが「彼ら」として三人称複数で描かれるゆえではないかと考えられる⁴。ゆえにこの引用に関しては、マタイは LXX というよりも、むしろ MT に沿って引用していると思われる。

それにしても、ホセア書 11 章 1 節におけるイスラエルの過去の出エジプトの出来事が、なぜマタイの福音書では「エジプトに入り、またそこから出てくる」というイエスの幼児期の出来事の成就となるのか。この箇所は新約聖書に

³ すなわち、New English Translation of the Septuagint.

⁴ G. L. Blomberg, "Matthew" in *Commentary on the New Testament Use of the Old Testament*, eds. G. K. Beale and D. A. Carson (Grand Rapids: Baker Academic/Nottingham: Apolos; 2007), 7.

おける旧約聖書引用理解の困難な一つの例として、これまでも幾度となく取り上げられてきた箇所である⁵。

当該箇所に関する比較的最近の G. K. Beale の小論文を参考にすると、当該箇所の引用理解に対するこれまでの先行研究を次のようにまとめることができるかと思われる⁶。

- ①マタイによる誤った解釈 (e.g., D. M. Beagle; S. V. McCasland)
- ②ホセア書 11 章 1 節の「わたしの子」とマタイの福音書 2 章 15 節の「わたしの子」は同じ意味 (W. C. Kaiser; cf. J. H. Sailhamer)⁷
- ③マタイに与えられたホセア書 11 章 1 節の「より完全な意味」(*Sensus Plenior*) としての特別な啓示 (e.g., G. D. Fee and D. Stuart)
- ④当時行われていたユダヤ教の解釈 (R. L. Longenecker; P. Enns)
- ⑤より広い旧約聖書の正典的文脈を考慮した上での、イスラエルの出エジプトとエジプトから帰還するイエスの予型論的理解 (e.g., R. T. France; D. A. Carson)
- ⑥旧約聖書のテキストにおける意味からは離れたキリスト論的理解 (P. Enns)

しかし近年、福音主義内において、当該箇所における引用問題に関する議論は単に上記のような引用理解の相違の問題に留まらない。そこで想定された結論から、使徒たちの解釈法の原則を導き出そうとする。後述するが、特に

⁵ 例えば、W. C. Kaiser, Jr., *The Uses of the Old Testament in the New* (Chicago: Moody Press, 1985), 47-53; T. L. Howard, "The Use of Hosea in Matthew 2:15: An Alternative Solution," *BSac* 143 (1986), 314-328; J. H. Sailhamer, "HOSEA 11:1 AND MATTHEW 2:15" *WTJ* 63 (2001): 87-96; P. Enns, *Inspiration and Incarnation: Evangelicals and the Problem of the Old Testament* (Grand Rapids: Baker Academic, 2005; reprint, 2015), 122-124; W. C. Kaiser, Jr., D. L. Bock, P. Enns, *Three Views on the New Testament Use of the Old Testament*, eds. K. Berding and J. Lunde (Grand Rapids: Zondervan, 2008); G. K. Beale, "THE USE OF HOSEA 11:1 IN MATTHEW 2:15: ONE MORE TIME" *JETS* 55/4 (2012), 697-715; 山崎ランサム「新約聖書における使徒的解釈学」33-54 頁。

⁶ Beale, "THE USE OF HOSEA 11:1," 697-699.

⁷ Beale は載せていないが、筆者の加筆による。